



まんだらげ

那智大滝(那智勝浦町)

vol. **22**
2012.9

CONTENTS

- 新任教授紹介
- スペシャリスト
- お薬の豆知識/睡眠薬
- TOPICS/手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入
「予約窓口カウンター」のご案内

■ 看護師・助産師募集

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

※ 募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。または下記までお問い合わせください。

<http://www.wakayama-med.ac.jp>

公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

電話: 073-441-0711 事務局総務課

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さんとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

新任教授紹介

神経内科

伊東 秀文

平成24年7月1日付で神経内科教授に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。私は昭和59年に京都大学を卒業し、大阪市の北野病院、ニューヨーク市のモンテ



フィオーレ医学研究所、関西医科大学、京都大学で診療・教育・研究を行って参りました。専門はパーキンソン病などの神経難病の原因究明と治療法の開発ですが、診療は神経内科疾患全般を診ています。神経内科は脳、脊髄、末梢神経から筋肉に至るまで、全身を診る診療科です。頭痛やめまい、ふるえ、しびれ、ふらつきといった症状でお困りの方は、どうぞお気軽に神経内科を受診してください。神経内科の病気の中には、長期にわたる療養が必要なものもありますが、和歌山県民の皆様が最高の医療を受け、安心して療養できる環境を整えるべく努力して参ります。



スペシャリスト

【医療安全推進部・医療安全推進室】

今年から医療安全推進室に配属になりました。30年間薬剤師として勤務してきましたが、医療安全は患者さんの安全と医療者の安全を守る私にとって、新しい分野の仕事であり慣れない面も大きいですが、病院の医療安全に関わることは大変やりがいのある仕事だと感じております。医療の高度化・専門化に伴い、より複雑になる医療現場に対応していくため、事例報告を受け防止策を検討し、再発防止に努めています。また、誤認防止対策として当院の患者確認の原則は、患者さん本人に自分の姓名を名乗って頂くことです。よろしくお願い申し上げます。



室長

上田 恵子

看護師長として長く現場に携わっていましたが、今年4月から医療安全推進室に勤務しています。毎日職員からレポートを提出してもらい、院内で起こった出来事や未然に防げた事例などを分析し、改善に向けたルールづけを図り、リスクマネジメントをしっかりと行うよう心がけています。患者さんに安全で質の高い医療を提供できるよう、年間を通じて職員を対象に講演会や勉強会などを実施し、病院職員全員の意識を高めることに積極的に取り組んでいます。



副室長

中山 美代子

お薬の豆知識

シリーズ⑳

「睡眠薬」～薬剤部から～

睡眠薬は睡眠障害や不眠症の治療に用います。作用時間により超短時間作用型(2～4時間)、短時間作用型(6～10時間)、中時間作用型(12～24時間)、長時間作用型(24時間以上)に分類されます。睡眠薬

は睡眠時の緊張を緩和し、不安を取り除き、寝つきをよくするなどの作用があります。お薬の効き方には個人差があり、また薬の影響で一過性の健忘症になったり、筋弛緩作用による脱力で転倒したりすることもあるので、医師の指示に従って服用してください。

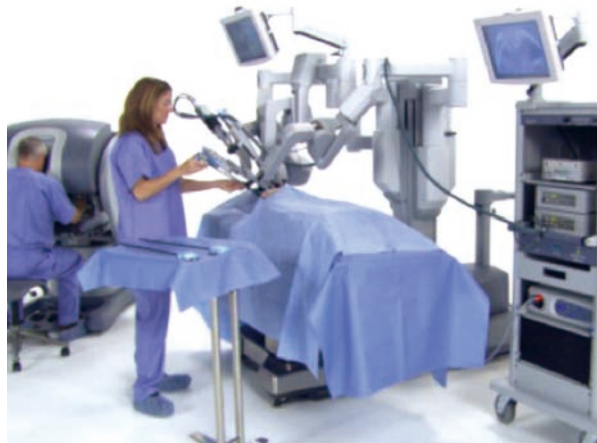
服用に際して、アルコールは睡眠薬の代謝を阻害し、副作用が強くなるので注意してください。さらに、服用後は車の運転や外出はしないように。

先端医療機器紹介【ダヴィンチ(手術支援ロボット)】

近畿の大学病院では3施設目(平成24年7月現在)となる手術支援ロボット「ダヴィンチ」が今年12月に稼働予定です。前立腺がん、肺がん、食道がん、胃がん等の切除・摘出手術で治療実績があります。

【ロボット手術の方法と効果】

ロボット手術とは、医療用ロボットの支援下で実施する体腔鏡下手術のことで、医師のロボット鉗子操作により、従来の手術では切除不可能な部位の安全な切除が可能になりました。



「予約窓口カウンター」のご案内

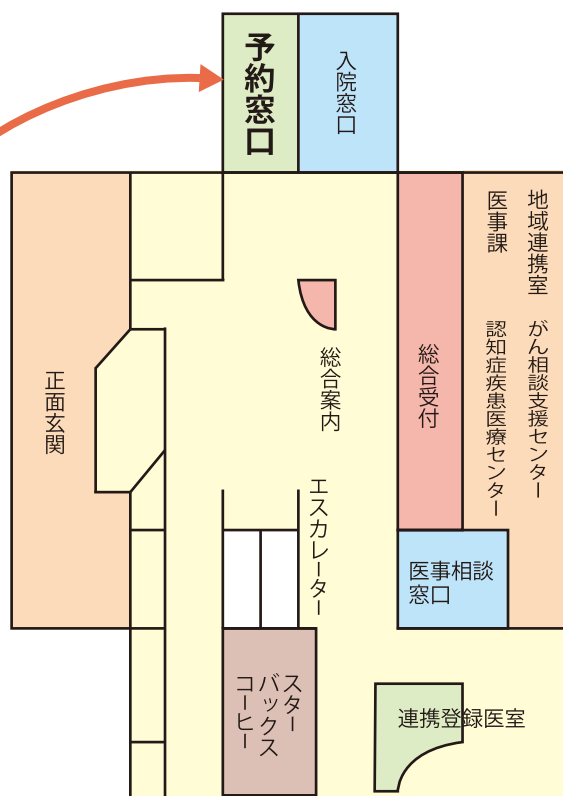
便利になりました!

2階・総合受付の左隣に、診察予約に関する「予約窓口カウンター」を開設しました。

お電話での受付だけでなく、この窓口でも当院診療科の新規の診察予約や予約変更をしていただけるようになりましたので、是非ご利用ください。



受付時間: 9時30分～17時00分



予約センターからのお知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

地域連携室

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※毎週金曜日は試行的に18:00まで受付しています。

■患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1.個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3.十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4.他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5.個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 当院予約センターに直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:00～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

■患者さんへのお願い

当院では、さまざま医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1.適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2.医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3.治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4.すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5.当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.22〉

2012年9月発行

発行/和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

外来受付時間

- ・受付時間 午前8時50分～午前11時30分
- ・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- ・休日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

次号発行は
12月です。

【ホームページアドレス】 <http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital> ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。